

企業紹介

お客さまのこだわりを様々な角度からバックアップ
作るから「創る」へー看板カー

 株式会社 池田看板

代表取締役 池田 洋子
〒950-3102 新潟市北区島見町字芝田2434番36
TEL 025-257-4088 FAX 025-255-3899
<http://www.iked-kanban.com>

業 種：サイン業
資 本 金：1,500万円
事業内容：各種デザイン、カッティングシート加工、
インクジェット印刷、展示・装飾・空間ディ
スプレイ、イベント企画・運営・施工

各種サインのデザイン・展示・装飾・空間ディスプレイなどを手掛ける(株)池田看板。「お客さまの希望が形に表れる看板」を経営理念に、斬新な発想や表現により「生きている看板」を提案し続ける。

平成23年には、地域社会への貢献の一助としてイベント事業部を立ち上げ、スポーツイベント、公園祭りなどの企画・運営に積極的に取り組む。

企画・製作・施工まで自社内で一貫対応

同社は、昭和10年、新潟市上大川前にて池田洋子社長の義父が池田看板店として創業。今年、創業77年を迎える老舗看板店である。当初は、ペンキと筆を駆使して文字や絵を描く職人技で、業容を拡大・発展させてきたが、近年は、その姿を大きく変えている。

まず、看板業界におけるIT化の流れや多種多様なお客さまニーズに対応するため、平成9年、「新潟東港工業団地」に本社および工場を移転。合わせて新型のインクジェットプリンターなどの高性能機器を導入し、企画・製作・施工までを一貫して自社内で対応できる態勢を構築した。

同社の製品は、JRコンコース、空港ターミナルなどで採用されているほか、各種商業施設、スポーツ施設、美術館など様々な分野で採用されている。最近では、新潟県をメイン会場に開催された「2012 北信越かがやき総体」の告知横断幕やレスリング競技会場のサイン製作を手掛けている。



▲新潟市の新潟東港工業団地内にある本社



▲高画質と高速プリントを可能にしたインクジェットプリンター



▲東北電力ビッグスワンスタジアム内のアルビレックス新潟会場サインを手掛ける

事業を通じて地域社会へ貢献

また、昨年、「イベント事業部」を新設。スポーツイベントから華展、公園祭りなど、個人レベルのイベントから地域イベントに至るまで、同社が幹事役となって企画・運営・施工をトータルでプロデュースする。イベントブースやグッズの製作はもちろんケータリング手配まで手掛けている。

同社は「お客さまに喜んでほしい！」という想いを原点に、お客さまにお役に立つことを通じて地域社会に貢献したいとしている。

社員一人ひとりの努力の積み重ねが原動力

同社は、培った技術と企画提案力を発揮することで、これまで多くのお客さまから絶大な支持を得てきた。これには、社員一人ひとりの努力の積み重ねが原動力となっている。社員一人ひとりが、海外や首都圏に出張した際には、最新技術や流行要素をいち早く吸収する努力をし、常に自分の感性を磨いている。こうした努力により培ったデザイン力・企画力を武器に、これからも徹底したお客さま志向で、数多くのアイデアを盛り込んだ製品を創造し続ける。



▲同社が手掛けた高校総体の大会横断幕